

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

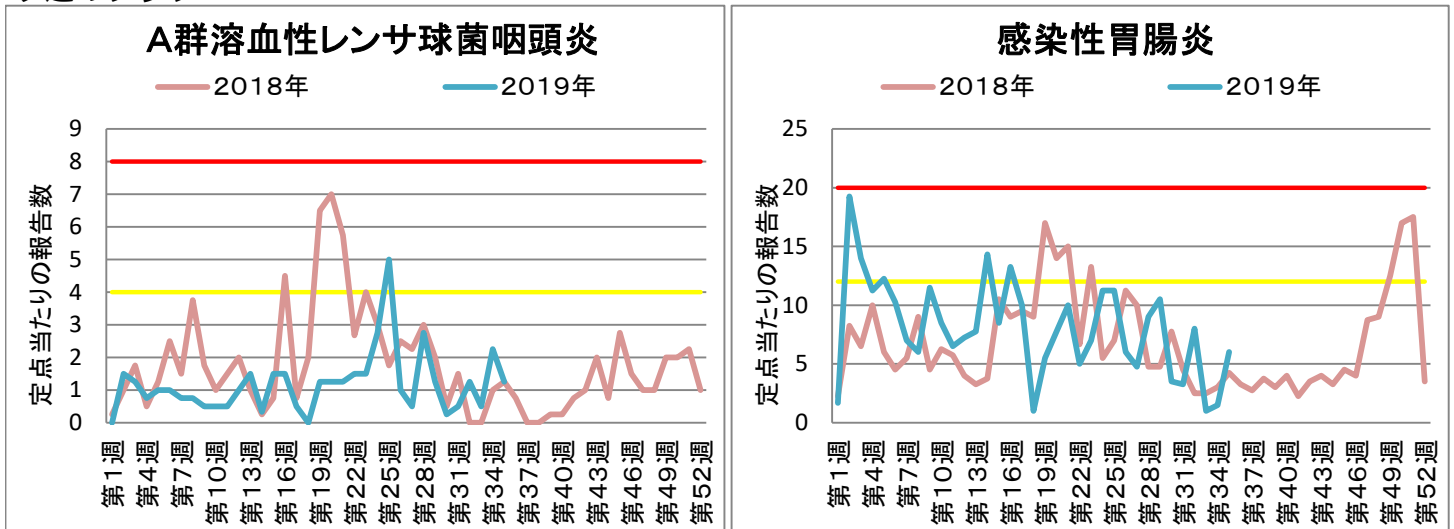
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 35 週 2019年8月26日 ~ 2019年9月1日

今週のコメント

- 伝染性紅斑の報告が再度増加しました(定点あたり2.00)。この疾患は幼児から小学生に多く、ほっぺたが赤くなることから「リンゴ病」とも言われます。飛沫感染または接触感染が主で、感染予防には外出後の手洗いをお願いします。
- 咽頭結膜熱の報告も、再度増加しています(定点あたり2.00)。この疾患は発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の感染症で、夏期に流行することがあり「プール熱」とも言われます。飛沫感染と接触感染が主です。
- 感染性胃腸炎、手足口病の報告も再度増加しました。学校が始まった影響も考えられます。
- 結核の報告が2例ありました。
- 京都市右京区と京都府木津川市で、インフルエンザによる学級閉鎖が報告されました。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.29	伝染性紅斑	2.00
RSウイルス感染症	0.25	突発性発しん	0.50
咽頭結膜熱	2.00	ヘルパンギーナ	5.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	流行性耳下腺炎	1.25
感染性胃腸炎	6.00	急性出血性結膜炎	0.00
水痘	0.00	流行性角結膜炎	0.00
手足口病	2.75		
1~4類、5類全数報告疾病			
結核(2人)			

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

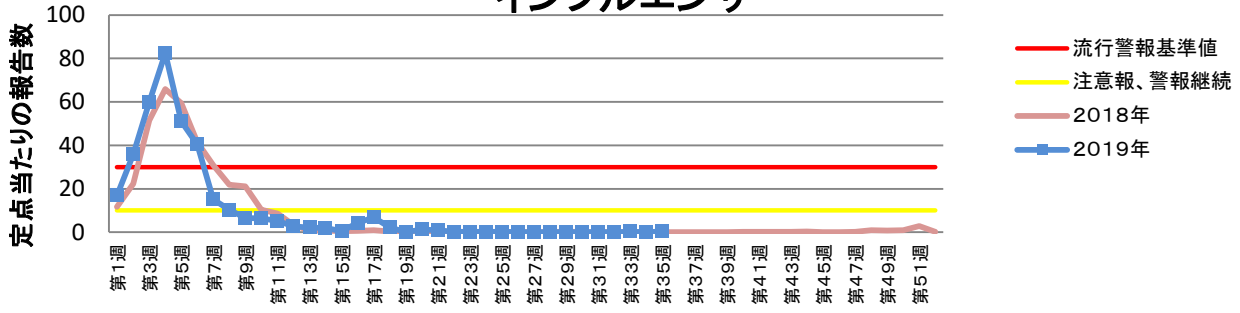
* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
眼科定点 : 1箇所

参考資料等

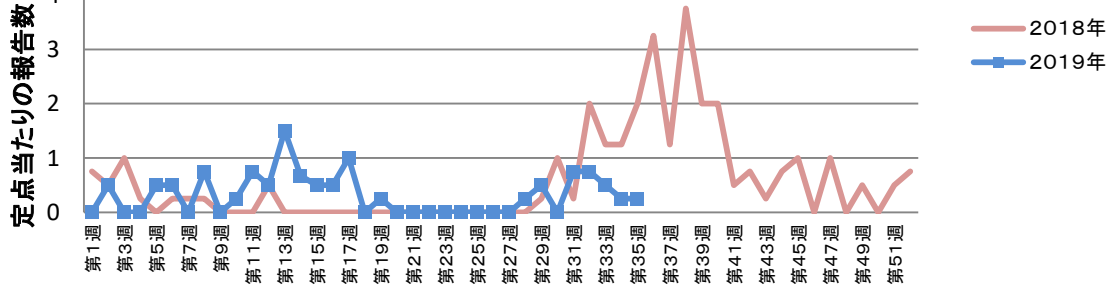
報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

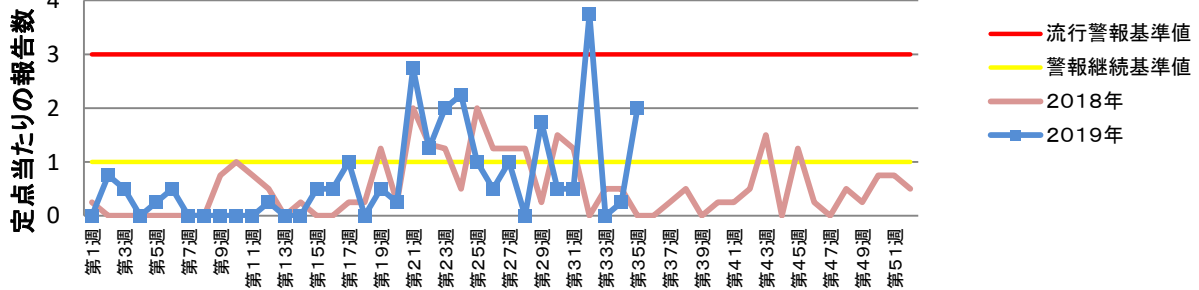
インフルエンザ



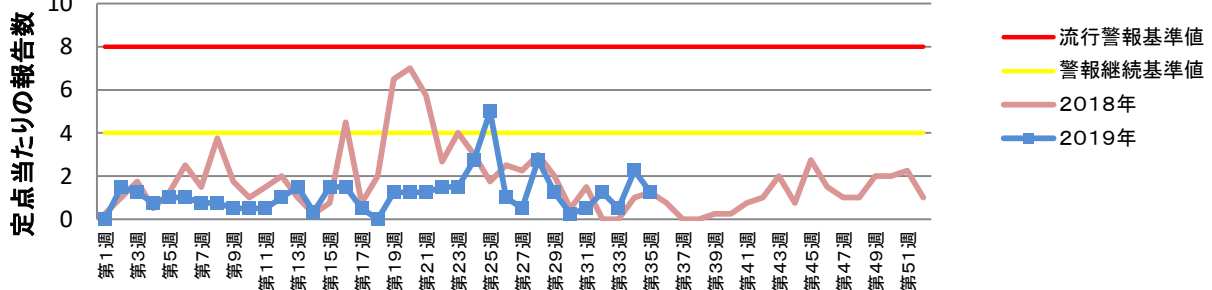
RSウイルス感染症



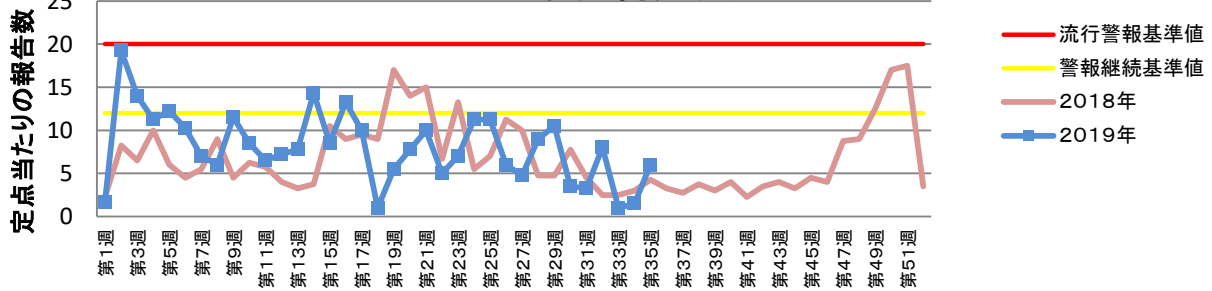
咽頭結膜熱



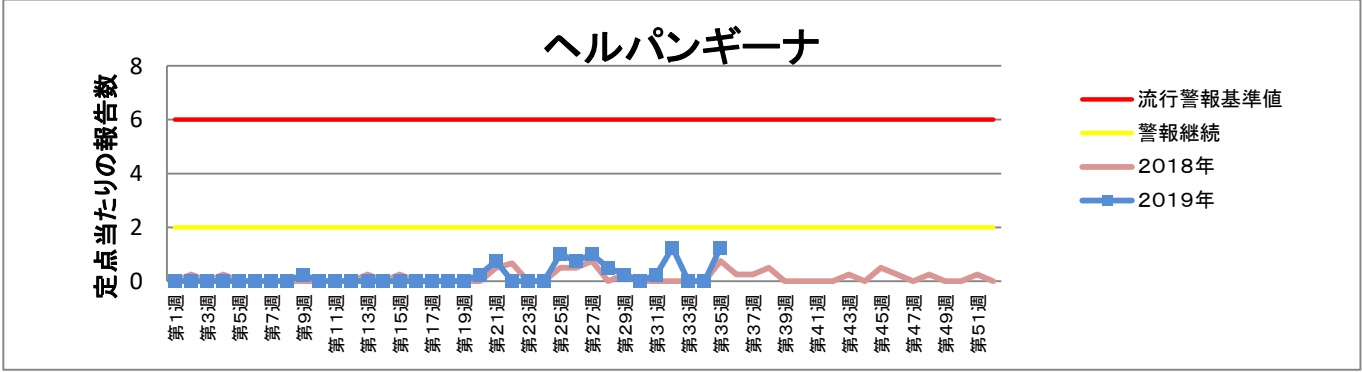
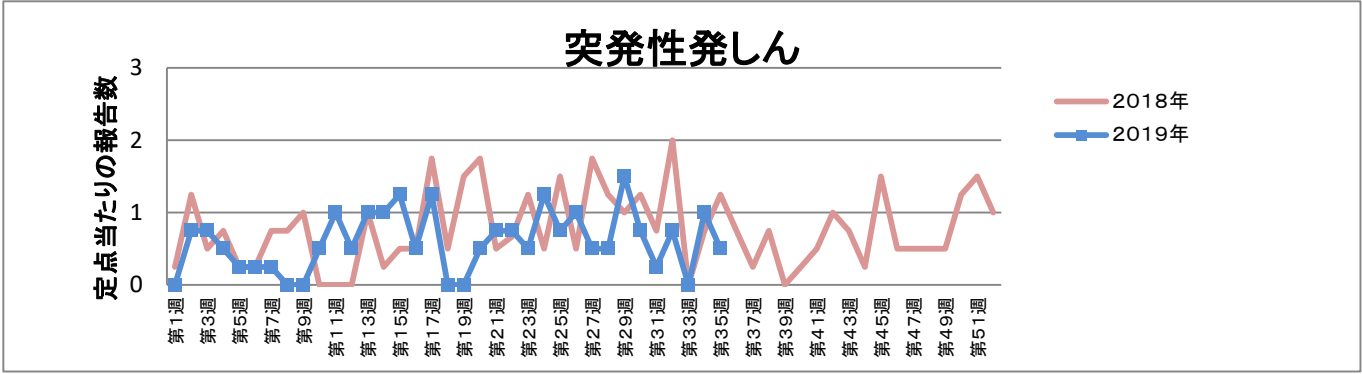
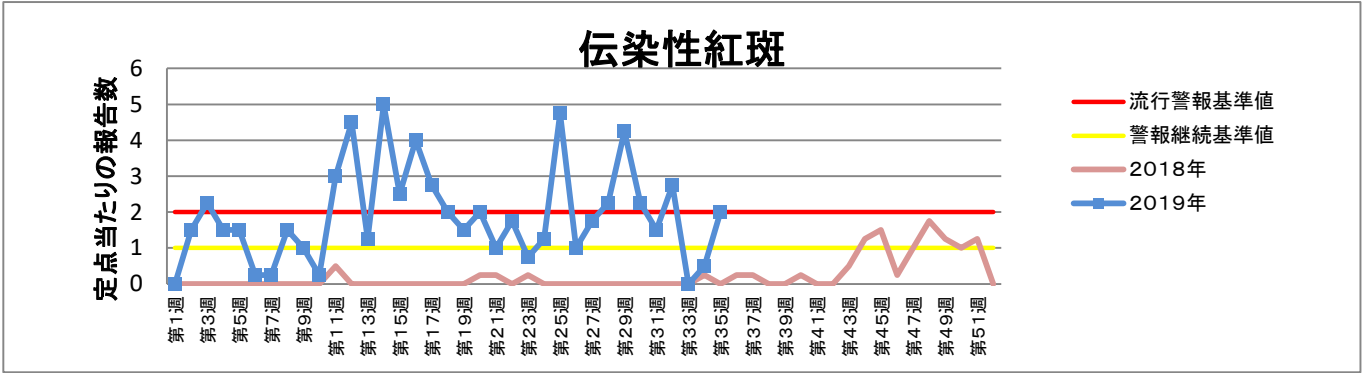
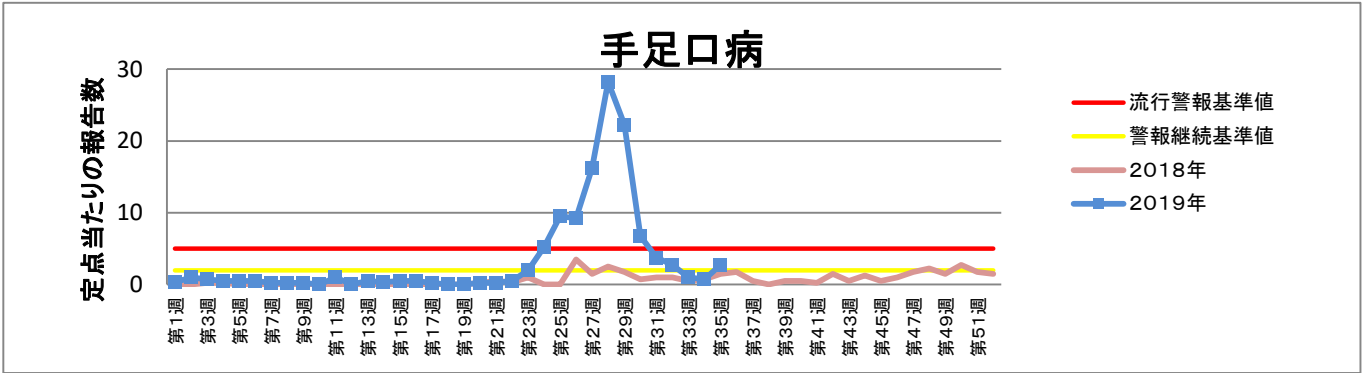
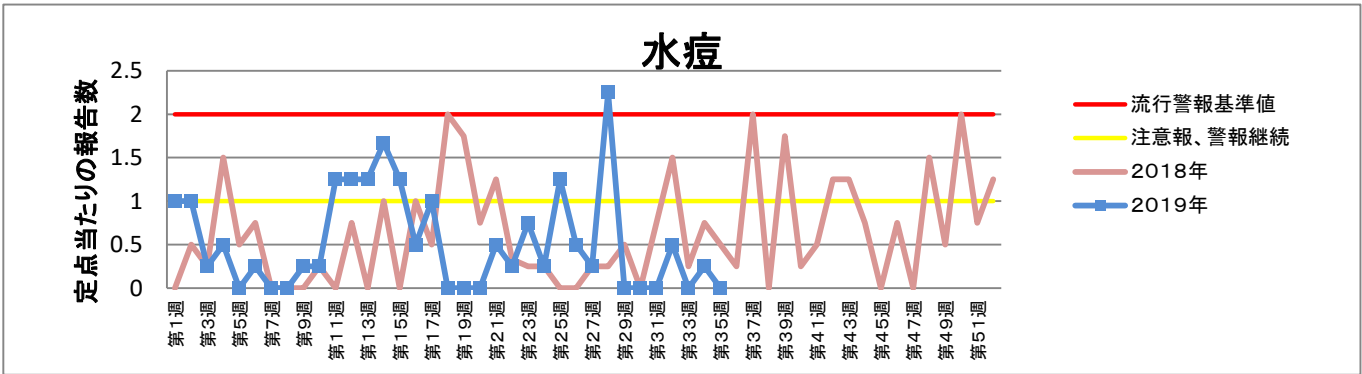
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

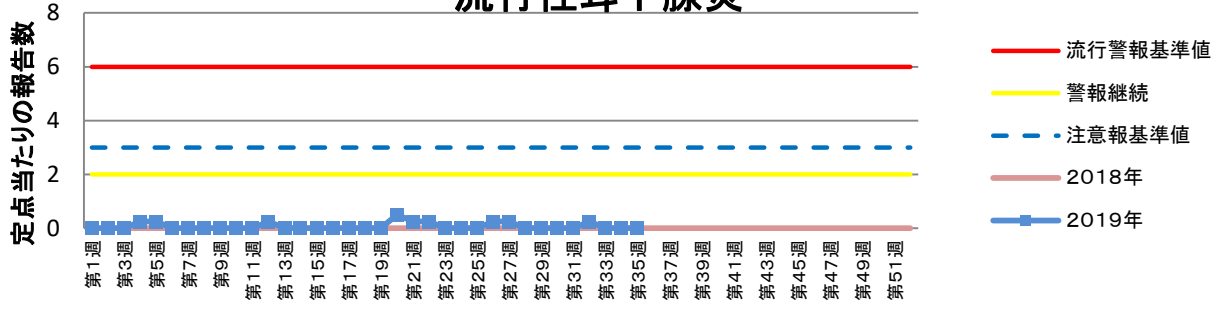


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

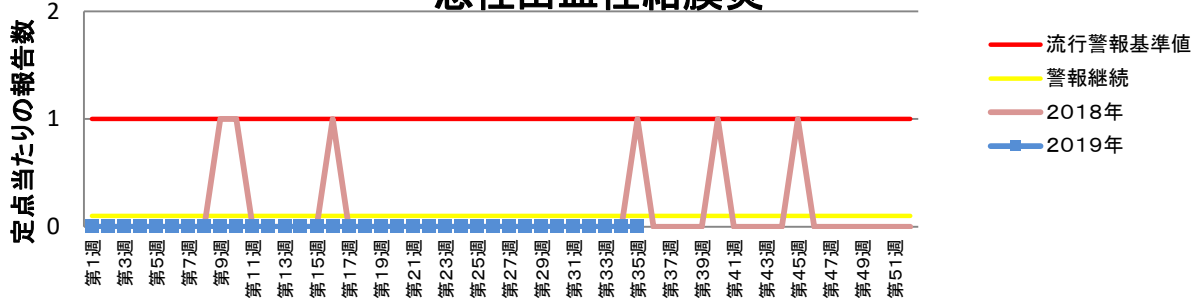


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

